

公表:令和 6 年 1 月 22 日

事業所名 ソレイユの森屯田

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			体を動かすための十分なスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			体操療育を行っている為、基準より職員を多く配置している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			階段を上る際に配慮が必要な利用者に対しては、職員が側に付き上っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			参加できない職員がいる場合は、記録を残して周知している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			日々の送迎やアンケート等で保護者の声を拾い、早期の改善・対応に努めている。	昨年度の評価表をもとに改善を行っている。まだ不十分な部分もあるため、検討し改善していく必要がある。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後実施していけるように努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			体操の補助練習や応急処置の講習を行い、全職員が対応できるようにしている。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			保育士や機能訓練担当職員を交え、様々な視点を踏まえて立案している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日プログラムの立案者を変えて療育を行っている。また、運動療育だけでなく、クッキングや製作活動等も取り入れている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇は季節に応じたイベントを開催している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			サーキットを行う際は、活動に適した職員を配置できるようにしている。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返った後に、改善方法まで話し合い、共有するよう努めている。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を元に、それぞれの子どもに対しての有効な支援方法を考えている。	
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		運動療育を取り入れているため、現在は医療的ケアが必要な子どもは通所していない。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		原則、低学年の児童を対象にしている為、学校を卒業する児童がいないが、必要に応じ情報提供等の連携を取っていく。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に発達支援センターと連携を取り、相談や助言を頂いている。	
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		交流を必要としていない家庭もあるため、慎重に検討している。
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に日々の活動や課題について伝え合い、共通理解をもてるように努めている。	

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者から困りごとを聞き取り、事業所内での支援方法を伝えたり、助言を行ったりしている。	
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施していなかったが、今後、保護者同士の連携を支援していけるような取り組みを検討していく。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に会報を発行し、活動の様子を発信したり、行事ごとの連絡を行ったりしている。	
	③5	個人情報に十分注意しているか	○				
	③6	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		交流を必要としていない家庭もあるため、慎重に検討している。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを策定するとともに、定期的に研修を行い周知している。	
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回、夏と冬に非常災害訓練を実施している。	
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			入職時と定期的に研修を行い、適切な対応ができるように努めている。	
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			基本的に身体拘束を行っていないが、契約時に保護者に説明し、了解を得ている。	
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時に聞き取りを行い、職員間で情報共有して、おやつ配布時に除去している。	
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			職員全員で共有し、改善に努めている。	

◎ この「事業所における自己評価結果」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 6 年 1 月 22 日

事業所名 ソレイユの森屯田

保護者等数(児童数) 43(45) 回収数 32 割合 74 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	0	0	2	活動場所に十分なスペースがあり、子どもを安心して通所させられている。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	31	0	0	1	配置数、専門性共に適切で、それぞれの先生の方針から見てお話ししてくれる。	
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	2	0	12	冬場は出入り口の段差が危ないと感じる。	バリアフリー化が難しい箇所もありますが、必要に応じて職員が傍につき、対応していきます。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	31	0	1	0	子どもの普段の活動の様子と保護者の要望を分析し、子どもに合った計画が作成されている。	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	31	0	0	1	毎回工夫されており、様々な運動に取り組んでいるおかげで成長を感じる。	
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	6	4	15	必要ない。	
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	0	0	0	丁寧な説明を受けている。	
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	31	1	0	0	些細な変化にも気付いて、毎回の活動の内容や様子を詳しく教えてくれている。	
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	1	1	2	相談しやすい雰囲気があり、連絡帳や電話等でいつでも相談することができている。	
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	6	8	14	必要ない。	
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	2	1	6	迅速かつ適切に対応されている。	
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	0	1	0	何でも伝えやすい雰囲気作りがされている。	

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	1	1	2	子どもの活動の様子が分かりやすく、楽しく見ている。	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	28	1	0	3		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	2	1	5		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	1	0	2	定期的に避難訓練が行われている。	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	30	1	0	0	日祝日には公園や施設に行くなど色々な企画があつてとても楽しみにしている。 運動が得意ではないが、できることが増えると話していて、とても楽しみにしている。 早く行こうと催促されるほど、とても楽しみにしている。	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	30	1	0	0	子どもの成長を感じることができ、大変満足している。 通所するようになってから、元気な挨拶や大きな声を出せるようになり、体幹の不安定さが改善してきたように感じるのありがたい。 子供に寄り添ってくれるので、いつもありがたく思っている。	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表:令和 6 年 1 月 22 日

事業所名 ソレイユの森屯田Ⅱ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			やや保育室が狭く感じる。	施設基準を下回る面積で設計はされていないため、物の配置など考慮していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			利用児童の人数に対し安全な療育を提供する職員を配置している。	引き続き適切な人員配置数でのサービス提供に努めていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		風除室へ入る際に段差がある。	小さなステップを置くことで段差の高さを軽減するものの導入を検討する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			その日のうちに1日の振り返りを行い、情報共有や業務改善に努めている。	今後も継続的に振り返りを行い、業務改善に努めていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			利用児童の全保護者にアンケートを配布しており、できるだけ回答が得られるように声掛けしている。	保護者から意見などがあつた際には、可能な限り取り入れていながら業務改善に努めていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに掲載している。	保護者へ公開していることの周知活動を行っていく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在第三者が見つからず、設置が難しい状況となっている。	第三者の設置を検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			店舗内で子どもの発達に関する研修など行っている。	パート勤務の職員にも研修内容を周知できるよう環境を整えていく。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員間でも会議を開き、ニーズを整理しながら作成している。	引き続き職員間での会議を継続し、客観的に分析した内容で計画を作成する。
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを使用して、療育を行っていく。	ツール理解を今後も深めていくよう研修を行っていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			普段の療育内容やイベント活動で目的を職員間で話し合っている。	専門的知識を取り入れた活動の導入を増やしていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同じ活動にならないよう、これまでの活動内容を振り返りながら、状況に合わせて内容を変化させて行っている。	利用児童の反応や表情を参考にしながら、取り組みやすさやどういった活動に楽しさを感じるかを検討し続け、活動内容を考えていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			その時期にしかできない活動を積極的に取り入れている。	学校の行事等の時期について、情報収集を継続していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学年やその時の気持ちの状況などに合わせて活動を組み合わせている。	様々な状況を想定して、複数の活動を用意しておくよう打ち合わせを行っていく。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			決められた時間に打ち合わせを行い、最近の児童の様子などを加味して内容や役割を決めている。	引き続き情報共有に努め、安全かつ効果的な療育を行っていきけるよう打ち合わせは継続して行う。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育終わりや翌朝には療育内容や保護者対応時の振り返りを行っている。	引き続き情報共有に努め、安全かつ効果的な療育を行っていきけるよう振り返りは継続して行う。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			療育終了後にはその日の記録を記載することを徹底している。	記録内容の周知方法を検討していく。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者に対してサービス計画についてのモニタリングを定期的に行っている。	引き続き保護者に対して定期的なモニタリングを行っていく。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			基本活動を複合的に取り入れ支援を行っている。	今後は基本活動への理解を深めていくことも検討していく。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			責任者が参加するようにしている。記録などを参照し、情報を予めまとめて参加している。	情報の整理について今後さらに精査していく。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時に学校の先生と情報を共有しつつ、調整などを行い、保護者の方へも共有している。	引き続き情報共有を行っていく。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在は医療的ケアを必要とする児童の在籍はない。	医療的ケアの必要な児童に対する理解・知識を深めていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				お互いに情報を共有し、相互理解を深めるよう努めている。	情報共有の頻度を増やしていくことも検討していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				小学校や相談支援事業所等に、当事業所内での活動の様子などを伝えている。	障害福祉サービス事業所の事業内容などの理解を深めていくための研修会や情報収集を行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				センター等の研修は可能な限り受講している。	今後も継続的に受講し、専門機関から受けた助言等を事業所内でも伝えていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		感染症の流行防止のため現在は行っていない。	今後開催していく機会を設けるために児童館などとの連携を継続していく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				可能な限り参加していく予定。	引き続き参加していく予定。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時だけではなく、適宜電話などで状況を伝え、共通理解を深めている。	今後も引き続き情報共有を行っていき、必要に応じて事業所での面談なども設けていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				送迎時に保護者の困りごとを聞き、対応についての支援を行っている。	引き続き必要に応じて行っていく。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や保護者から問い合わせがあった際に説明している。	今後も継続して丁寧な説明を心がけていく。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			悩み事に対するの対応や、相談先などの提示を行っている。	職員間でも保護者の悩み事を共有し、意見を出し合いながらより良い対応ができるよう努めていく。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染防止を徹底して支援を行っている。	開催頻度を増やしていき、より多くの保護者同士が連携を取れるようにしていく。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際には職員間で話し合い、迅速に対応している。	今後も引き続き対応していき、より迅速な対応ができるようマニュアルなどの作成を検討する。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			普段の活動内容を連絡帳やお便りで発信している。	引き続き継続していく。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			外部に漏洩しないよう徹底している。	新入職員への指導も徹底して行っていく。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			状況に合わせて言葉遣いなどの配慮をしている。	引き続き継続し、新入職員への指導も徹底していく。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			現在は感染症拡大防止の観点から行っていない。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			感染症が流行している状況ではすぐに情報を発信している。	保護者に対して策定したものの周知をさらに広げていく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回以上、火災と地震を想定した避難訓練を実施している。	今後は水害を想定した避難訓練も取り入れ、年3回以上訓練を行うことを目標とする。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアルを使い、防止するための研修を行っている。	研修頻度を増やすことを検討していく。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束が必要なケースはないが、必要な場合には、保護者へ必要性を十分に説明し、了承を得るようにしている。	引き続き了承を得た上でサービス提供に努めていく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時や行事ごとに保護者へアレルギー調査を行っている。	食物アレルギーだけではなく、ハウスダストなどの調査も行い、アレルギーに対するの対応を徹底していく。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			発生した日中に報告書を作成している。	作成後都度共有しているが、共有漏れのないように、月末など再度確認する日を決め定期的に職員間で事例を共有するよう努める。

◎ この「事業所における自己評価結果」は、事業所全体で行った自己評価です。



公表:令和 6 年 1 月 22 日

事業所名 ソレイユの森屯田Ⅱ

保護者等数(児童数) 58

回収数 50

割合 86.2%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	47	1		2	子どもが思いきり運動できる広さがある。良い。	今後も十分なスペースを確保するために、物品整理をしていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	41			9	適切だとは感じるが、専門性の詳細は知らない。	保有資格などをお便りで知らせていく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	6	2	18	2階へ上がる階段の勾配が大きく、危なさを感じる。風除室前の段差が高い。	風除室前の段差を解消する小さいステップを検討していく。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	46	2		2	子どもに合った支援計画を立てている。	今後も客観的な分析のもと、支援計画を立案していく。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	47	1		2	季節に合わせるなど様々な活動を行っており、子どもが飽きない活動を行っている。	活動内容の見直しや季節に合わせた活動内容を継続して行っていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	3	4	35	障がいのない児童との関わりは学校などで良い。社会見学の機会を増やしてほしい。	工場見学などの社会見学を今後検討していく。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	49	1			一つ一つ丁寧に説明している。	今後も丁寧な説明を心がけていく。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	47	2		1	普段の活動中の様子を詳しく話してもらえる。	活動中の出来事なども詳しく説明することを継続していく。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	39	6	1	4	面談はないがその都度相談や助言をしてもらっている。	必要に応じて面談の機会を設けることも検討していく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	6	10	19	同じ悩みを持つ保護者同士の意見交換はとても貴重だと思う。もう少し頻度を多くしてほしい。	今後は保護者会の頻度を増やしていく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	32	1		17	問い合わせ後の対応に時間がかかることがある。	より迅速な対応をしていくために研修などを行い職員の育成を進めていく。
⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	49			1	普段から丁寧に情報を提供していると感じる。	引き続き情報を共有していく。	

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	42			8	おたよりなどで活動内容を知ることができている。	連絡帳やお便りで活動内容についてより分かりやすく発信していくよう心掛ける。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	42	2		6	イベントの時などでも写真掲載の可否を確認している。	引き続き取り扱いに十分注意する。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	38	2		10	各対応に関しては口頭で説明を受けている。	必要に応じて保護者に対してマニュアルの説明も検討していく。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	49			1	避難訓練を定期的に行っており安心している。	水災害を想定した避難訓練も導入していく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	43	7			とても楽しく通っており、生活の一部となっている。イベントが多く楽しんでいる。	子どもたちが楽しく通所できるよう活動内容だけでなく、環境の雰囲気も重要視していく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	48	1		1	跳び箱や鉄棒等を教えてもらってから学校の体育にも積極的に参加することができるようになってきている。	今後も各利用者のニーズに合わせた支援内容を提供していけるよう努めていく。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。